

創業1000年、経営の知恵とは

京都・大阪の3事業者 パネル討論で語る

東京

長寿企業から経営の知恵を学ぶ「1000年企業サミット」が、東京都内で開かれた。創業から千年を超える京都、大阪の3事業者のリーダーが事業の歴史や



事業の歴史や大切にしている経営理念などを紹介する京都、大阪の長寿企業のリーダーら(東京都千代田区・神田明神)

大切にしている理念などを語った。

サミットは、TOMACONSサルタンツグループ(東京)が企画。従来1000年企業サミットとして開催してきたが、10回目を記念して開催した。

パネル討論には、587年創業の華道家元池坊(京都市中京区)の池坊専好次期家元、弘法大師が唐から持ち帰った鋳造技術を受け継ぐ806年創業の「傳來工房」(京都市南区)の橋本和良会長、世界最古の企業とされる578年創業の社寺建築「金剛組」(大阪市)の大槻純一郎社長が登壇した。

池坊次期家元は、千年以上

上にわたり続いてきた理由について「時代に合わせて花形を生み出してきた。柔軟性を保つてきたのが強みではないかと思う」と述べた。橋本会長は、社長就任直後に売り上げを2年で3倍にしたものの、品質不良

で返品に追われた経験を明かし、「売り上げを追うと仕事荒れると祖父が言っていた。身の丈経営に徹することが大切」と語り、訪れた老舗企業の経営者らが熱心に聞き入っていた。

(石田真由美)